

おもな内容

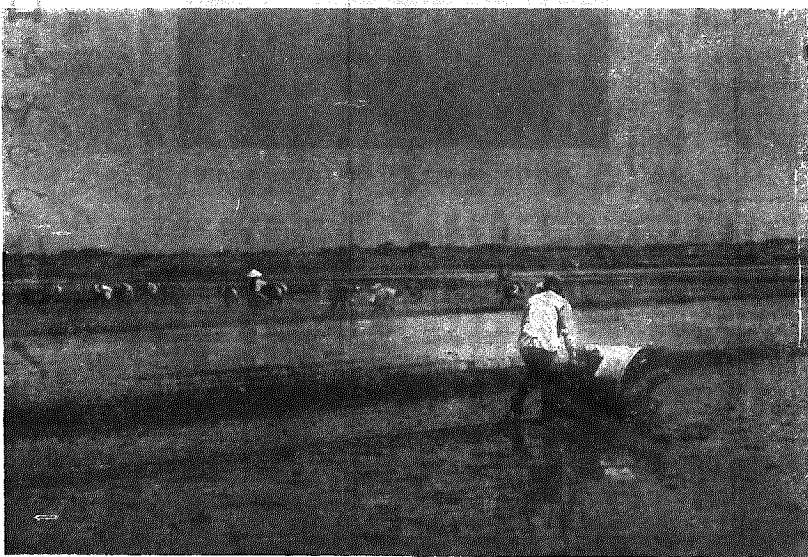
1. 47年度村子算
2. ヨミ公舎がやつてきた
3. 三市中消防大会
4. 水道料改定
5. 75才以上の医療費無料化
6. 47年度社会教育事業計画
7. 速青野球場建設に取り組み

六月の譜

陽の翳り俄かに冷ゆる花の山
春の服着ても百姓肩の巾
山吹を垣に結ふ手に花半
大日蔭わがものとして農婦たち
青田風ふところに農五十年
釣堀に喜雨の休みの農親子
六月や年に二度来る菜売り

夫子 十九一
夫子 十九一
夫子 十九一
夫子 十九一
夫子 十九一
夫子 十九一
夫子 十九一

(小阿賀吟社作品より)



田植えも機械化時代に (横越下地区)

田植え

公民館長 田中郁郎

新鮮かな五月も終りに近づきました。雨上りの緑が目にしむような近頃です。風かおる横越の沃も田植えの最盛期を迎え、どこの田も賑やかな風景が見られます。昔ながらの早乙女が列をつつて、手植えをしている前で若者が機械で植えていく。横越の農家は時代の移り変わりを感ぜざる風景です。機械化による農作業の効率化、それに伴う経済的な問題や、農閑期の時間の扱い方など、農家経営も近年大きく変わってきたのではないかと思います。

更に又、今年も宅地の造成工場誘致、学校、水道の用地売却などで田が減少し、生産目標も昨年の八七五から七三三と昨年比八・三%の減少となり、都市化の傾向も強く感じられます。新潟市近郊農村に対する宅地造成の動きは中央の大資本による積極的な姿勢なども新聞により報道されており、現在、素人ながら考えさせられるところがあります。

然し、横越村にとって農業が今後も、中核的産業であることは間違いないと思えますし、又そうありたいと思えます。目にしむような横越の緑が、横越の農村風景が失われていくことは気持の上からも惜しい気がします。

早乙女にしても、機械化にしても、今後の横越村の農業、農家経営がどうあるべきかは、横越村にとつても大きな課題でないかと思えます。公民館も、このような状況の変化、離しをしても集まれる時間がない、人口の職業別の比率変化、他管内からの人口の流入など変化に応じた方法を研究し、皆様の要望をふまえて活動を進めていかなければと思っております。

昭和47年度一般会計予算

3億7千9百万円の超大型に

重点は ● 学校統合 ● 生活環境整備 ● 産業振興 ● 社会福祉

前年度に比し 四十五%ふくらむ

昭和四十七年度の予算等を審議する村議会が、さる三月十四日から二十四日まで開催されました。村はこの議会に一般会計予算をはじめ特別会計である国民健康保険、水道農業共済の三事業の予算もそれぞれ提案し、いずれも原案どおり可決されました。

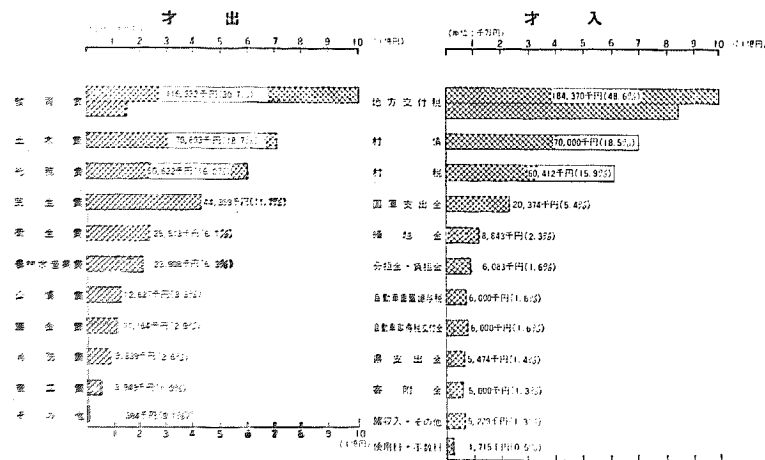
第一は、生活環境整備で、道路舗装、および橋梁新設事業のほかに、都市計画事業の「街路、下水路事業費」それから「新沼市、亀田町、黒埼村」から学校統合用地の取得、生活環境の整備、産業振興、社会施設負担金等が計上されています。

第二は、産業振興で、農業近代化事業、野菜団地事業、構造改革事業、農道整備事業等各費のほか、今年度から新たに両工業者の経営安定等を画するための産業育成資金の貸付金等が計上されています。

第三は、社会福祉の増進で七十五才以上の老人医療に對し、無料化にする措置費が計上されています。

以上、四つの重点施策のほか、防火水槽、消防ポンプ等の消防設備費、および駐車場用地取得費等があり、総額においては、前年度より四十五パーセントも大きくふくらんだ超大型の予算になっています。

費目別予算構成



才入才出 総額 379,500千円